

第 6 回
オストメイト生活実態基本調査
調査報告書

平成 19 年 8 月

社団法人 日本オストミー協会

第6回オストメイト生活実態基本調査報告書

- 目 次 -

はじめに	1
アンケート結果の概要	2
1. オストメイトの属性	2
(1) 性別	
(2) オストメイトのストーマ種別	
(3) 年齢分布	
(4) 手術後の経過年数	
2. 身体障害者福祉法関連事項	4
(1) 身体障害者手帳給付状況	
(2) 身体障害者手帳の等級	
(3) ストーマ装具給付券の給付状況	
(4) ストーマ装具給付額	
(5) 一ヶ月にかかるストーマ装具の経費	
(6) 給付券での不足の有無	
3. 障害者自立支援法関連事項	9
(1) 自己負担額の増減	
(2) ストーマ用品の給付状況	
4. オストミー情報と社会の理解度関連事項	10
(1) オストミー情報の入手方法	
(2) ストーマに関する社会の理解度	
(3) ET・WOCナースの受診	
5. ストーマ装具関連事項	11
(1) 二品型(ツーピース)と単品型(ワンピース)	
(2) 密閉型(クローズド)と開放型(ドレイン)	
(3) 使用中のストーマ装具の満足度	
(4) ストーマ装具を選んだ理由	
(5) パウチ(袋)の交換頻度	
(6) 二品型ストーマ装具のフランジの交換頻度	
6. 洗腸関連事項	16
(1) 洗腸法実施者数の推移	
(2) 洗腸の実施頻度	
(3) 洗腸器具の買い替え頻度	
(4) 新法施行後の洗腸器具の給付	
7. 生活上抱えている問題や悩み	17
8. 国や自治体の福祉制度についての要望	18
考察	20
1. 身体障害者福祉法関連事項	20
(1) 障害認定について	
(2) ストーマ装具給付券の発給状況	
2. 障害者自立支援法関連事項	21
3. オストミー情報と社会の理解度関連事項	21
4. 生活上抱えている問題や悩み	22
5. 国や自治体の福祉制度についての要望	23
終わりに	24
参 考 料	
第6回オストメイト生活実態基本調査票(質問票)	
第6回オストメイト生活実態基本調査 支部別標本数	

第6回オストメイト生活実態基本調査報告書

はじめに

この調査は、当協会の会員を対象にアンケート調査をすることにより、オストメイトの生活実態と意見を明らかにするとともに、定期的に反復調査することによりその変化を観察し、これを基にオストメイトの生活向上を図るための協会活動の資料とするものである。

調査設計に当たっては、すで実施したところを検証し、今後、継続的に変化を観察すべき基本項目を設定し、かつ調査手法をも定例化することを意図した。当協会で、調査項目の検討、調査サンプルの選定手法などの設定を行い、調査結果の解析、検討を行った。

なお、本調査はブリストル マイヤーズ・スクイブ（株）様のご支援により実施した。

調査対象（サンプル）と調査手法

* サンプル数	1,025 票
* 回収数	658 票
* 回収率	64.2 %
* サンプル抽出法	協会の全支部（約11,000名）を対象に無作為抽出
* 質問	質問票によるアンケート方式。 自由回答を極力避けることとした。 質問数は36問とし、質問票を4ページとした。

調査事項＜調査質問票は巻末に掲載＞

- * サンプル属性（性別、ストーマ種別、満年齢、ストーマを造設した年、支部名）
- * 身体障害者福祉法関連事項
- * 障害者自立支援法関連事項
- * ストーマ情報と理解度関連事項
- * ストーマ装具関連事項
- * 洗腸関連事項
- * 生活上抱えている問題や悩み
- * 国や自治体の福祉制度についての要望

調査期間

平成19年7月1日～7月15日

．アンケート結果の概要

調査結果はいずれもサンプル数658を基準にしており、結腸人工肛門を「コロストミ-」、回腸人工肛門を「イレオストミ-」、人工膀胱を「ウロストミ-」、人工肛門と人工膀胱を「Wストーマ」と表記する。

1. オストメイトの属性

(1) 性別

男性と女性の比率の推移を表1に示す。第3回調査までは、女性会員の比率が漸増傾向を示したが、4回以降は男性会員が漸増していた。今回は女性会員が増加している。

表1 性別 【単位：％】

調査時期	男性	女性
今回(平成19年)	61	39
第5回(平成16年)	64	36
第4回(平成14年)	65	35
第3回(平成11年)	61	39
第2回(平成8年)	62	38

(2) オストメイトのスト-マ種別

スト-マ種別は、表2に示すように今回の調査ではウロストミーとWストーマが増加している。

表2 スト-マ種別の推移 【単位：％】

調査時期	コロストミー	イレオストミー	ウロストミー	Wストーマ	無回答
今回	70.6	5.9	17.3	3.0	3.2
第5回	70.7	5.8	16.6	1.8	5.1
第4回	67.1	5.8	13.4	4.6	9.1
第3回	71.6	4.2	16.4	2.9	4.9
第2回	74.3	4.9	15.7	3.6	1.6

手術後の経過年数別にスト-マの種類別を表3に示す。オストメイト全体に占める割合は、コロストミーとイレオストミーは術後経過年数が長くなるに従い増加する傾向を示す。反対にウロストミーは、術後経過年数が長くなるとその割合は減少している。ただし、前回に比べ3年未満においてコロストミーが減少しイレオストミーとウロストミーが大幅に増加している。これらの傾向は、イレオストミーは食生活の変化による大腸疾患の増加、ウロストミーは手術時の年齢が比較的高いことが影響しているものと考えられる。

表3 スト-マ種別と術後経過年数 【単位：％】

術後経過年数	コロストミー	イレオストミー	ウロストミー	Wストーマ	無回答
3年未満	52.9	11.8	29.4	0	5.9
3～5年未満	68.4	8.7	19.3	1.8	1.8
5～10年未満	67.3	3.3	24.8	2.6	2.0
10～20年未満	72.5	5.0	15.8	3.3	3.3
20年以上	76.5	8.8	10.6	3.5	0.6

(3) 年齢分布

表4の年齢階層別の属性を見ると、全体の平均年齢は71.9歳と第5回調査時の70.8歳よりさらに高齢化が進んでいる。年齢層では70歳代の人が最も多く、次いで60歳代、80歳以上の順になり、60歳未満の人は11.6%である。男性は女性より僅かに高年齢側に分布している。

イレオストミーの平均年齢は66.5歳と若く60歳未満が25.7%となっている。ウロストミーとWストーマは70歳以上の人の割合がそれぞれ71.7%、75%と非常に高くなっている。

表4 年齢分布 (無回答を除く)

【単位：%】

年齢層(歳)		40未満	40～49	50～59	60～69	70～79	80以上
属性	平均年齢						
全 体		0.5	2.3	8.8	23.2	42.5	22.6
性別	男 性	0.3	1.8	8.1	21.2	46.1	22.5
	女 性	0.8	3.2	9.9	26.6	36.9	22.6
ストーマ種別	コ ロ ス ト ミ ー	0.2	1.5	9.9	24.4	39.3	24.5
	イ レ オ ス ト ミ ー	2.6	10.3	12.8	15.4	46.2	12.8
	ウ ロ ス ト ミ ー	0.9	0.9	4.4	22.1	54.0	17.7
	W ス ト ー マ	0	5.0	5.0	15.0	45.0	30.0

過去4回の調査結果と比較するために、表5に40歳未満、40～64歳、65歳以上の年齢階層の割合を示した。

65歳以上が増加し、更に高齢化が進んでいることを示している。

表5 年令分布の推移

【単位：%】

調 査 時 期	40歳未満	40～64歳	65歳以上	無回答
今 回	0.5	20.3	77.9	1.4
第 5 回	0.5	21.9	73.7	3.9
第 4 回	1.1	31.1	67.8	4.9
第 3 回	1.5	32.6	64.3	1.7
第 2 回	1.4	32.4	62.0	4.0

(4) 手術後の経過年数

オストメイトの術後経過年数の推移を表6に示した。第2回調査(平成8年)までは3区分としたが、第3回調査からは5区分として、術後年数5年以上の範囲を細分して調査した。術後10～20年未満の人が最も多い。術後3年未満の人が今回は前回の約3分の1の2.6%になった。手術直後から10年未満の人が全体の3分の1、10年以上20年未満の人が全体の3分の1の割合になっている。

表6 術後経過年数の推移

【単位：%】

調 査 時 期	3年未満	3～5年	5～10年	10～20年	20年以上	無回答
今 回	2.6	8.6	23.1	36.5	25.7	3.5
第 5 回	7.2	9.5	22.4	36.4	19.4	4.9
第 4 回	14.8	9.3	24.1	33.5	13.4	4.9
第 3 回	10.9	10.6	23.2	34.1	12.0	9.2
第 2 回	16.0	14.7	63.3(5年以上)			6.1

2. 身体障害者福祉法関連事項

身体障害者福祉法のオストメイトに対する適用状況とその生活への影響等を調査し、また平成15年4月の身体障害認定基準改正による実効状況の調査を行い、助成措置が不可欠である実態及び法改正による助成強化を検討するデータを探る事とした。

(1) 身体障害者手帳給付状況

表7は年々身体障害者手帳の交付を受けている会員の増加を示しており、今回の調査では平成15年に身体障害認定基準が改正されたこともあり、98%以上の方が手帳の交付を受けている。術後経過年数（無回答を除く）で見ると、10年以上20年未満と20年以上の人の取得率がやや低いが、全般的に非常に高い取得率となっている。

ストーマの種類別に見ると、表8に示すようにコロストミー以外の方は全員が身体障害者手帳の交付を受けており、コロストミーの方は前は96.8%が今回は97.9%が交付を受け、0.9%の増加と手術後5年未満の人全員が交付を受けているのは改正によるものと思われる。さらに、手術後の経過年数で見ると全体の傾向と同じく10年以上20年未満と20年以上の人の取得率がやや低い。

表7 身体障害者手帳給付状況の推移

【単位：%】

調査時期	もらっている	もらっていない	無回答
今回	98.2	1.5	0.3
第5回	97.2	2.3	0.5
第4回	95.5	4.1	0.4
第3回	94.1	5.3	0.5
第2回	87.4	6.3	6.3

図1 身体障害者手帳交付状況(手術後経過年数別分布 無回答を除く)

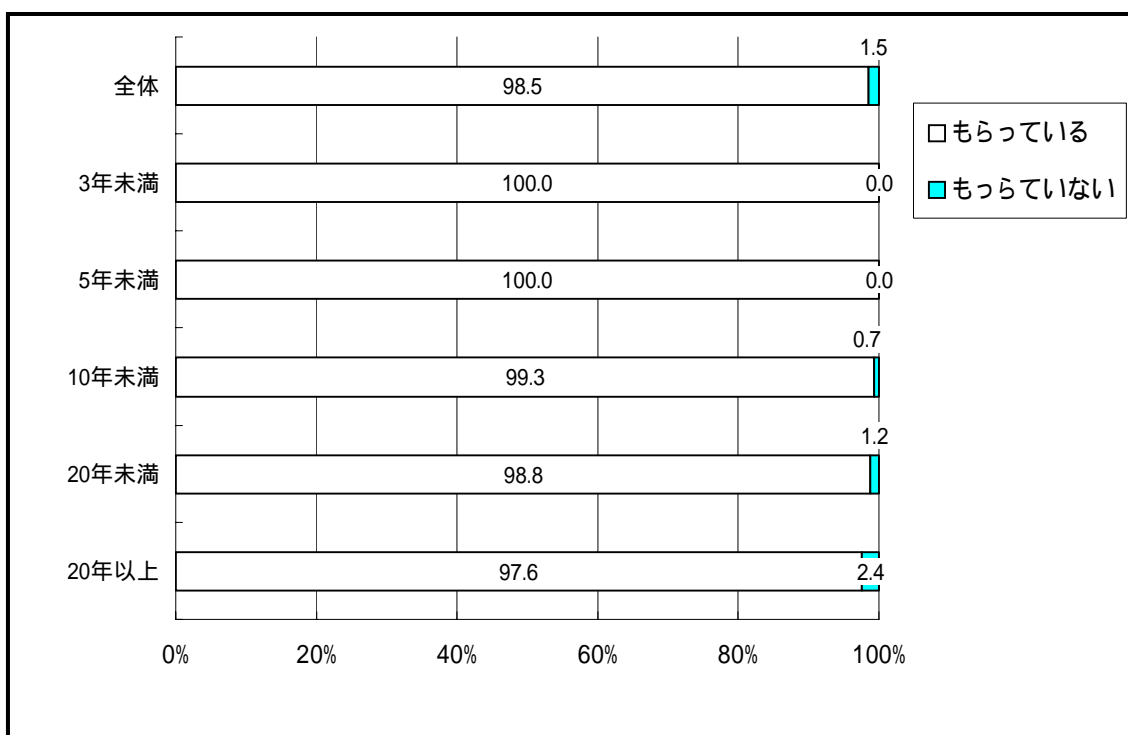


表8 手帳交付者のストーマ種別と術後経過年数（無回答を除く） 【単位：％】

術後経過年数		全 体	3年未満	3～5年	5～10年	10～20年	20年以上
スト ー マ 種 別	コロストミー	97.9	100.0	100.0	99.0	98.3	96.9
	イレオストミー	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
	ウロストミー	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
	W ス ト ー マ	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

表9は身体障害認定基準改正以降の手帳交付状況を詳細に調査したものであるが、コロストミーやイレオストミーは、6ヶ月後の申請や再申請で取得した人がまだ30%以上であることに注目したい。

法律の施行が不平等になっている点を改善するように要望していく必要がある。

身体障害認定等級が上がった人はイレオストミーとWストーマの人に多く見られる。

身体障害認定基準改正以降に手帳が交付されなかった理由について調査した結果を表10に示すが、コロストミーだけが交付されないケースがあり、その理由は「医師が診断書を書いてくれない」であった。

表9 身体障害認定基準改正以降の手帳交付状況 【単位：％】

ストーマの種別	全 体	コロストミー	イレオストミー	ウロストミー	Wストーマ
交 付 状 況					
申請して直ぐもらった	61.5	59.1	40.0	92.0	44.5
6ヶ月後に申請してもらった	29.0	33.3	30.0	4.0	22.2
再申請してもらった	4.5	3.0	10.0	4.0	22.2
級が上がった	5.0	4.6	20.0	0	11.1

表10 身体障害認定基準改正以降の手帳未交付理由 【単位：％】

ストーマの種別		全 体	コロストミー	イレオストミー	ウロストミー	Wストーマ
未 交 付 理 由						
医師が診断書を書いてくれない		12.5	12.5	0	0	0
診断書を窓口に出したが、資格がないと断られた		0	0	0	0	0
ただいま提出中である		0	0	0	0	0
申 請 し な い	プライバシー確保	87.5	50.0	87.5	50.0	0
	障害者と思っていない	33.3	33.3	0	0	0
	その他	16.7	16.7	0	0	0

これは身体障害認定基準が改正された内容が行政や医師に徹底していないとことであり、改善を要望していく必要がある。

なお、「もらっていない」人の87.5%は「申請するつもりはない」としているが、その理由は、「プライバシーが洩れる恐れがあるから」、「自分は障害者と思っていないから」となっている。

(2) 身体障害者手帳の等級

手帳をもらっている人のうち、4級が89.9%、3級が7.0%、2級が1.2%、1級が1.9%で、これらは前回の調査と大差はないが2級が1.7%、4級が1.6%増加している。

ストーマの種類別で見ると、コロストミーが4級で3.5%、2級が2.2%増加している。ウロストミーが4級で3.6%減少し、2級、3級でそれぞれ1.5%、2.3%増加している。Wストーマが1級で0%から10%に増加し、逆に2級で10%が0%になった。3級で5%増加し、4級が5%減少している。イレオストミーも3級が6%減少し4級が11.3%増加している。身体障害認定基準改正が影響しているものと考えられる。(表11)

表11 身体障害者手帳の等級分布とストーマ属性 【単位：%】

ストーマの種類	1 級	2 級	3 級	4 級
全 体	1.9	1.2	7.0	89.9
コ ロ ス ト ミ ー	1.3	0.7	4.9	93.1
イ レ オ ス ト ミ ー	5.1	5.1	12.8	76.9
ウ ロ ス ト ミ ー	0.9	2.6	4.4	92.1
W ス ト ー マ	10.0	0	65.0	25.0

(3) ストーマ装具給付券の給付状況

表12に示すように、給付券を「もらっている」人の比率が今回は前回より5.6%増加していて、調査回数を追うごとに増加している。これは、支部や病院での指導が次第に徹底してきたものと言える。

表12 ストーマ装具給付券の給付状況 【単位：%】

調 査 時 期	もらっている	もらっていない	無 回 答
今 回 (平成 19 年)	83.3	13.7	2.9
第 5 回 (平成 16 年)	78.9	18.3	2.8
第 4 回 (平成 14 年)	80.6	17.7	1.7
第 3 回 (平成 11 年)	72.7	25.9	1.4
第 2 回 (平成 8 年)	62.9	35.0	2.1

表13にストーマの種類別の給付券給付状況を示す。

全体の8割以上の人々が給付券をもらっており、特にウロストミーが高率であるが、Wストーマやイレオストミーは前回よりそれぞれ15%、8%増加している。(無回答を除く)

表13 給付券給付状況とストーマ属性 【単位：%】

ストーマの種類	もらっている	もらっていない
全 体	85.9	14.1
コ ロ ス ト ミ ー	83.6	16.4
イ レ オ ス ト ミ ー	86.8	13.2
ウ ロ ス ト ミ ー	92.7	7.3
W ス ト ー マ	85.0	15.0

(4) ストーマ装具給付額

表14 ストーマ装具給付額の推移

【単位：%】

今回の調査結果の特長は、「全額給付」の人が前回の半分以上の13.7%に減少し、「自治体の補助で一部もらえる」の人が前回の2倍の52%増加し、「自治体の補助で全額もらえる」の人は前回の約半分の7.4%に減少した。

	今回	第5回	第4回	第3回
所得が低いので全額給付	13.7	30.3	30.0	23.1
所得制限で全くもらえない	0.6	0.2	1.7	17.9
所得制限で一部しかもらえない	19.3	17.4	17.9	18.4
所得制限にかかるが、自治体の補助で全額もらえる	7.4	13.6	15.9	9.4
所得制限にかかるが、自治体の補助で一部もらえる	52.0	26.1	31.2	16.9
よくわからない・無回答	7.0	12.5	3.2	14.4

これは、昨年施行した障害者自立支援法の影響で自治体の福祉が後退しているのではないかと危惧される。(表14)

ストーマの種類別でみると、表15のようになりストーマの種類に関係なく「所得制限にかかるが、自治体の補助で一部もらえる」の人が多くなっている。

表15 ストーマ装具給付額とストーマ種別(無回答を除く)

【単位：%】

		所得が低いので全額給付	所得制限で全くもらえない	所得制限で一部しかもらえない	所得制限にかかるが、自治体の補助で全額もらえる	所得制限にかかるが、自治体の補助で一部もらえる	よくわからない
ストーマの種類別	全体	14.0	0.6	19.6	7.6	53.1	5.1
	コロストミー	13.2	0.3	20.3	7.1	55.0	4.1
	イレオストミー	21.2	6.1	21.2	6.1	42.4	3.0
	ウロストミー	13.0	0	17.0	11.0	51.0	8.0
	Wストーマ	23.5	0	11.8	5.9	52.9	5.9

(5) 一ヶ月にかかるストーマ装具の経費

表16は、ストーマ装具に関して、一ヶ月にどのくらい生活上の負担を強いられているかを見たものである。経費が「かかる」と答えた人は、第3回の79.4%、第4回の89.0%、第5回の92.1%に対して今回は93.9%となっており、前回に比べて更に1.8%増加している。

金額は5千円以上1万円未満が35%、1万円以上1万5千円未満が24.4%となり、全体の59.4%になっているが前回の61%と近い値になっている。「全くかからない」と答えた人は、第3回の8.3%、第4回の5.4%、第5回の8.8%、今回は6.1%となっているが、「全くかからない」と言う事は考えられない。

ストーマの種類別では、コロストミーの人は前回に比べ1万円以上1万5千円未満が2.4%増、1万5千円以上2万円未満が3.5%増となっている。イレオストミーの人は、前回5千円未満が0%であったが今回は13.9%に増加している。5千円以上

1万円未満が8.2%減、1万円以上1万5千円未満が3.8%増であるが、2万円以上で5.2%減となっている。

表16 一ヶ月当たりのストーマ装具費用負担額とストーマ種別 【単位：%】

補装具費用負担額(月)	全体	コロストミー	イレオストミー	ウロストミー	Wストーマ
全くかからない	6.1	6.1	8.3	6.2	5.5
かかる	93.9	93.9	91.7	93.8	94.5
5千円未満	15.6	15.6	13.9	16.5	16.7
5~10千円未満	35.0	41.1	27.8	13.4	11.1
10~15千円未満	24.4	22.4	27.8	39.2	0
15~20千円未満	11.1	9.2	16.6	15.4	11.1
20~25千円未満	4.9	3.2	2.8	6.2	44.5
25千円以上	2.9	2.4	2.8	3.1	11.1
平均推定費用月額	9,987	9,331	10,278	11,340	16,528

ウロストミーの人は、1万円以上1万5千円未満が39.2%、1万5千円以上2万円未満が15.4%となり全体の54.6%(前は61.6%)になっている。Wストーマの人は、1万5千円以上2万円未満が44.5%となっている。

ストーマ装具費用負担額中間値を用いて平均的な負担額を計算すると、表16に示すようにWストーマ、ウロストミー、イレオストミー、コロストミーの順になり、いずれも給付上限額以上の負担となっていることがわかる。

(6) 給付券での不足の有無

ストーマ装具の費用がかかるとした人に対し、自治体から給付されるストーマ装具給付券(人工肛門一ヶ月8,600円、人工膀胱一ヶ月11,300円[市区町村により異なる]これに消費税3%上乘せ)で足りているか否かを聞いた。その結果「給付券だけでは間に合わない」とする人が74.5%(前回は67.6%)と7割以上になっている。

表17 ストーマ装具給付券満足度とストーマ種別 【単位：%】

ストーマ装具給付券不足額(月)	全体	コロストミー	イレオストミー	ウロストミー	Wストーマ
間に合っている	25.5	26.5	19.3	24.7	37.5
間に合っていない	74.5	73.5	80.7	75.3	62.5
2千円未満	19.4	20.9	16.1	18.0	6.2
2~3千円未満	16.3	16.2	9.7	15.7	18.8
3~4千円未満	8.4	7.3	22.6	6.7	18.8
4~6千円未満	11.8	11.5	16.1	12.4	6.2
6~8千円未満	7.1	6.5	12.9	5.9	0
8~10千円未満	3.3	3.8	0	0	6.2
10~15千円未満	5.5	4.7	0	12.3	0
15千円以上	2.7	2.6	3.3	2.2	6.3
平均不足費用月額	3,377	3,241	3,387	3,860	3,125

ストーマの種類別に見ると、コロストミーやウロストミーでは「間に合わない」人が73.5%、75.3%に対してイレオストミーでは80.7%と最も多くなっている。

間に合っていない金額の中間値から不足費用月額額の推定平均値を算出すると全体の平均は3,377円となり、ウロストミー、イレオストミー、コロストミー、Wストーマ、の順に不足金額が多くなっている。(表17)

3. 障害者自立支援法関連事項

(1) 障害者自立支援法の施行によりストーマ装具の自己負担額の増減

表18は昨年の障害者自立支援法の施行によるストーマ装具の自己負担額がどのように変わったかを聞いた。この法律でストーマ装具の給付は市区町村事業となり、自己負担額も市区町村により異なるようになった。「自己負担額が増えた」が34.5%、「今までと変わらない」が31.3%、「自己負担額が減った」が16.7%となっている。特にWストーマの人で「自己負担額が増えた」が60%となっている。

表18 ストーマ装具の自己負担額の増減 【単位：%】

		自己負担額が増えた	い今までと変わらない	た自己負担額が減った	わからない	無回答
ストーマの種類別	全 体	34.5	31.3	16.7	12.9	4.6
	コロストミー	32.6	30.9	17.4	14.6	4.5
	イレオストミー	38.5	33.3	17.9	5.1	5.1
	ウロストミー	35.1	35.1	16.7	9.6	3.5
	W ス ト ー マ	60.0	25.0	0	10.0	5.0

(2) ストーマ用品の給付状況について

表19はストーマ用品の給付状況を聞いたもので、これは協会が以前から厚生労働省に要望していた内容が、障害者自立支援法の施行に伴い厚生労働省がストーマ用品の項目を明確にしたにも係らず、「給付されている」が28.3%と3分の1以下となっており、市区町村段階ではいまだに徹底されていないことが明確になった。

表19 ストーマ用品の給付状況 【単位：%】

		て給付される	なれ給いて付いさ	無回答
ストーマの種類別	全 体	28.3	48.3	23.4
	コロストミー	25.5	50.0	24.5
	イレオストミー	35.9	46.2	17.9
	ウロストミー	37.7	44.7	17.5
	W ス ト ー マ	35.0	35.0	30.0

4 . オストミー情報と社会の理解度関連事項

(1) オストミー情報の入手方法

ストーマ装具などオストミー情報の入手方法は、全体では販売店からの情報が最多で、次にオストメイト仲間、僅少差で医療従事者となっている。

ストーマ種別では、コロストミーの方が販売店から、イレオストミーとウロストミーの方は医療従事者、Wストーマの方が販売店となっている。

男女別では、男性が販売店から、女性はオストメイト仲間となっている。(表20)

表20 オストミー情報の入手方法

【単位：％】

		販売店からの案内	メーカーのホームページ	医療従事者	オストメイト仲間
全 体		36.4	5.2	27.5	31.0
スト ー マ 種 別	コロストミー	39.3	5.5	23.5	31.8
	イレオストミー	23.9	8.7	39.1	28.3
	ウロストミー	28.6	3.0	39.8	28.6
	Wストーマ	44.0	4.0	24.0	28.0
性 別	男 性	40.0	5.7	26.9	27.5
	女 性	31.1	4.4	28.0	36.5

(2) ストーマに関する社会の理解度

ストーマに関する社会の理解度については、全体的に60%の方が余り理解されていないと考え、ストーマ種別では、余り理解されていないと全く理解されていないを併せると、コロストミーの方が78%、イレオストミーの方が74%、ウロストミーの方が69%、Wストーマの方が80%に上り、男女別でも74~79%になる。

理解されているか否か分からない方も一桁台で存在する。(表21)

表21 ストーマに関する社会の理解度

【単位：％】

		理解されている	余り理解されていない	全く理解されていない	無回答
全 体		16.4	58.2	17.5	7.9
スト ー マ 種 別	コロストミー	15.7	60.1	17.4	6.9
	イレオストミー	20.5	48.7	25.6	5.1
	ウロストミー	21.1	53.5	15.8	9.6
	Wストーマ	5.0	65.0	15.0	15.0
性 別	男 性	18.2	56.1	17.7	8.1
	女 性	13.5	61.9	17.5	7.1

(3) ET・WOCナースの受診

ET・WOCナースに受診したことがあると回答された方は、全体で44%で、受診したことがないと返答された方より3%少なかった。人数で20人弱の差がある。

ストーマ種別で見ると、コロストミーの方が受診したことがないと回答された方が半数以上いたのに対し、イレオストミー・ウロストミー・Wストーマの方達は半数以上に上った。

性別で見ると、男性が半数近くの方が受診の経験がないと回答したのに対し、女性は半数近くの方が経験があると回答し、セルフケアに積極性が伺える。(表22)

表22 ET・WOCナースのケア経験

【単位：%】

		経験がある	経験がない	無回答
全 体		43.6	46.5	9.9
ス ト ー マ 種 別	コロストミー	41.0	51.5	7.5
	イレオストミー	51.3	38.5	10.3
	ウロストミー	52.6	31.6	15.8
	Wストーマ	60.0	20.0	20.0
性 別	男 性	41.9	48.2	9.8
	女 性	47.6	42.5	9.9

5. ストーマ装具関連事項

(1) 二品型(ツーピース)と単品型(ワンピース)

パウチの種類として、二品型(ツーピース)と単品型(ワンピース)のどちらを使用する人が多いか、また、密閉型(クローズ)と開放型(ドレイン)のいずれが好まれているか、その傾向を調べ表23、表24に示した。

第3回調査以降、二品型の方が多く使用されているが、単品型の使用割合は徐々に多くなってきていて、全体では前回の調査の時より0.9%増の44.1%となっている。

ストーマの種類との関係では、前回と比べ二品型はコロストミーでは1%強、ウロストミーは7%強、Wストーマは29%弱各々減少し、イレオストミーでは逆に10%強増加している。

表23 使用しているパウチのタイプ

【単位：%】

パウチの タイプ	今 回					第5回	第4回
	全 体	コロストミー	イレオストミー	ウロストミー	Wストーマ	全 体	全 体
二品型	55.9	52.1	81.6	65.3	61.9	56.8	57.2
単品型	44.1	47.9	18.4	34.7	38.1	43.2	42.8

(2) 密閉型（クローズ）と開放型（ドレイン）

今回調査では、密閉型に比べて開放型パウチの使用割合は、第5回調査に比べ、コロストミーでは2.6倍、イレオストミーでは6.6倍、Wストーマでは15.9倍となっている。開放型のパウチの使用割合は非常に高く、第3回調査から第4回調査に増加し、第4回調査から第5回調査にかけて減少し、今回は第5回調査に比べて再び増加している。ほぼ全体的に開放型の使用割合が増加した。（但し、ウロストミーと無回答を除く）（表24）

表24 パウチの密閉型と開放型のストーマ種別 【単位：％】

パウチの型 ストーマの種別	開放型 (ドレイン)			密閉型 (クローズ)		
	今回	第5回	第4回	今回	第5回	第4回
全 体	74.6	67.2	67.9	25.4	32.8	32.1
コロストミー	72.2	65.1	65.8	27.8	34.9	34.2
イレオストミー	86.8	87.5	90.9	13.2	12.5	9.1
W ス ト ー マ	94.1	77.8	80.0	5.9	22.2	20.0

(3) 使用中のストーマ装具の満足度

現在使用しているストーマ装具に満足している人の割合は、満足とほぼ満足を加えると全体の79.1%となり、前回に比べ3%減となっている。イレオストミーの一部の方が満足から、ほぼ満足に移行し、ウロストミーの方が満足・ほぼ満足とも増加している。Wストーマの方は前回のほぼ満足から満足へ11%移行し、合計すると前回同様の比率となる。（表25）

なお、第3回調査から5回までの満足度は、73.2%、79.3%、82.1%となっている。

表25 ストーマ装具の満足度とストーマ種別 【単位：％】

	満足	ほぼ満足	やや不満	不満足
全 体	21.4	57.7	16.6	4.3
コ ロ ス ト ミ ー	21.7	57.1	17.0	4.2
イ レ オ ス ト ミ ー	15.4	51.3	20.5	12.8
ウ ロ ス ト ミ ー	24.8	62.4	10.1	2.8
W ス ト ー マ	11.1	66.7	22.2	0

(4) ストーマ装具を選んだ理由

現在使用しているストーマ装具を選択した理由を聞いたところ、全体では、前回同様入院中から使用している、皮膚に安心、扱いやすいが上位を占めている。ストーマの種別との関連では、コロストミー、イレオストミー、ウロストミーの方が入院中から使用しているが最多で、他では、全体的に「扱いやすくて」や「皮膚に安心」が多くなっている。また、サンプルの試用、医師や看護師の推奨、使用中の漏れがない、などもかなり考慮されている。（表26）

表 2 6 使用しているストーマ装具を選択した理由とストーマ種別

【単位：％】

	全 体	コロ ストミー	イレオ ストミー	ウロ ストミー	Wストーマ
値段が安い	8.5	9.7	7.7	2.6	10.0
入院中から使用している	41.5	39.7	51.3	49.1	30.0
皮膚に安心	35.6	36.5	38.5	28.9	40.0
粘着力が強い	14.3	14.8	15.4	12.3	20.0
使用中の漏れがない	16.4	17.0	23.1	14.0	5.0
扱いやすい	29.6	32.2	28.2	18.4	40.0
メーカー・業者のサービスが良い	6.8	6.7	7.7	6.1	25.0
病院の医師又は看護師の推奨	17.6	15.7	20.5	22.8	20.0
患者会・同憂者会の仲間の推奨	4.6	4.9	5.1	2.6	0.0
知合いのオストメイトの推奨	5.3	6.7	2.6	1.8	0.0
販売店からの薦め	5.3	5.4	5.1	7.0	0.0
メーカーの営業マンの推奨	4.4	4.3	10.3	4.4	5.0
サンプルの試用で良好	22.0	22.5	25.6	15.8	35.0
会報の広告・情報誌の記事	3.5	4.3	0.0	0.9	10.0
ホームページの記事	0.2	0.2	0.0	0.0	0.0
わからない	1.1	1.3	2.6	0.0	0.0
その他	4.7	4.7	7.7	3.5	5.0

(5) パウチ (袋) の交換頻度

どのくらいの頻度でパウチの交換をするか、継続的な調査を行った結果、「1日に2回以上」、「1日に1回」、「2日に1回」及び「5日に1回」の人達が前回に比べ減少し、「3日に1回」、「4日に1回」、「6日に1回」の人達が増加している。

ストーマの種別でみるとコロストミーの方が「1～2日に1回」、イレオストミーの方が「3日に1回」、ウロストミーの方が「4日に1回」、Wストーマの方が「3日に1回」がそれぞれ最多となっている。

性別では、男性が「3日に1回」、女性が「2日に1回」がそれぞれ最多となった。

(表 2 7、表 2 8)

表 2 7 パウチ（袋）の交換頻度の推移

【単位：％】

交換頻度	1日2回以上	1日1回	2日1回	3日1回	4日1回	5日1回	6日1回	1週間1回	それ以上	使用しない	無回答
今回	8.2	17.2	17.9	21.6	12.8	5.8	2.4	3.6	0.9	1.7	7.9
第5回	9.5	19.4	18.2	16.3	10.4	7.6	1.6	4.1	3.2	2.3	7.4
第4回	8.1	21.1	16.3	17.0	12.5	7.9	4.0	3.8	2.0	2.3	4.9
第3回	12.3	22.2	13.7	14.0	9.4	5.7	2.0	3.6	1.9	2.5	11.8
第2回	15.3	21.1	11.4	11.9	8.0	6.0	2.3	4.2	2.3	4.6	12.7

性別でみると、「1日に2回以上」や「1～2日に1回」は女性のほうが多く、「3日～1週間に1回」は男性の方が多い傾向を示しており、これは清潔感の違いか。

ストーマの種別でみると、コロストミーは前回同様「3日以内に1～2回」が多く、中でも「1～2日に1回」が最も多い。イレオストミーは「2～4日に1回」が多いが、前回同様「3日に1回」が最も多い。ウロストミーは「3～5日に1回」が多く、「4日に1回」が前回同様最も多い。Wストーマでは「3日に1回」が最も多く、「4日に1回」が次いで多い結果になっている。（表28）

表 2 8 パウチ（袋）の交換頻度と性別、ストーマ種別（無回答を除く）【単位：％】

交換頻度		1日2回以上	1日1回	2日1回	3日1回	4日1回	5日1回	6日1回	1週間1回	それ以上	使用しない
全 体		8.9	18.6	19.5	23.4	13.9	6.3	2.6	4.0	1.0	1.8
性別	男 性	8.5	16.3	15.7	24.0	16.8	6.6	3.6	5.5	1.1	1.9
	女 性	9.7	22.5	25.0	23.3	9.3	4.7	1.3	1.7	0.8	1.7
ストーマ種別	コロストミー	10.4	23.0	23.0	22.0	9.3	3.7	2.3	3.0	1.2	2.1
	イレオストミー	10.3	12.8	20.5	33.3	15.4	2.6	2.6	0	2.6	0
	ウロストミー	0	1.9	3.8	27.9	33.7	16.3	4.8	9.6	0	1.9
	Wストーマ	12.5	12.5	12.5	25.0	18.8	12.5	0	6.3	0	0

（6）二品型ストーマ装具のフランジ交換頻度

フランジ（皮膚に密着させる面板）を交換する平均頻度は、他季節（夏季を除く春、秋、冬季）では「3日～5日に1回」が多く、夏季は、前回同様「2日～5日に1回」と1日早く且長くなっている。最も多い交換頻度は、他季節で「4日に1回」、夏季は「3日に1回」であった。これらの傾向は前回と同じある。

なお、全体的に「3～5日に1日」に交換する人達に集中した分「1日1回」、「6日に1回」、「1週間に1回」の人達が減少傾向にある。（表29）

二品型フランジの平均交換日数の概略値を計算すると他季節では4.34日、夏季では3.71日となり、平均交換日数は夏季が0.63日程度短いと推定される。

表29 二品型フランジの交換頻度の推移

【単位：％】

		1日2回以上	1日1回	2日1回	3日1回	4日1回	5日1回	6日1回	1週間1回	それ以上	使用しない	無回答
今回	他季節	0.8	0.6	4.8	15.7	19.9	15.1	4.5	6.4	1.7	0.3	30.3
	夏季	1.7	2.0	12.3	27.5	20.7	11.2	4.8	3.9	1.1	0.3	14.6
第5回	他季節	0.3	1.0	3.2	13.5	17.9	13.8	9.3	7.4	0.6	0.6	32.4
	夏季	0.6	1.9	10.6	25.0	18.9	14.1	6.4	7.1	0.6	1.0	13.8
第4回	他季節	0.0	1.5	3.7	15.4	22.1	18.1	8.2	8.0	1.3	0.2	21.6
	夏季	0.2	2.0	12.1	28.5	20.7	13.7	4.0	5.5	0.5	0.4	12.4

ストーマの種別でみると、他季節でもっとも頻度の高いのは、コロストミーが「4日に1回」、イレオストミーが「3日に1回」、ウロストミーが「4日に1回」等は前回と同様でしたが、Wストーマが「4日に1回」と「3日1回」に集中している。夏季の交換日数は他季節に比べ、それぞれ1日程度早くなっている。

平均交換日数の推定値は、コロストミーが他季節4.54日、夏季3.75日、イレオストミーが他季節3.82日、夏季3.32日、ウロストミーが他季節4.18日、夏季3.92日、Wストーマが他季節4.43日、夏季4.00日となり、各々夏季には0.79日、0.5日、0.26日、0.43日交換日数が短くなっている。(表30)

表30 二品型フランジの交換頻度とストーマ種別(無回答を除く)

【単位：％】

交換頻度		1日2回以上	1日1回	2日1回	3日1回	4日1回	5日1回	6日1回	1週間1回	それ以上	使用しない
ストーマの種別											
他季節	コロストミー	0.6	1.2	7.3	18.9	26.8	22.6	6.1	12.2	3.7	0.6
	イレオストミー	4.0	0	8.0	36.0	28.0	16.0	4.0	0	4.0	0
	ウロストミー	0	0	4.1	26.5	32.7	24.5	8.2	4.1	0	0
	Wストーマ	0	0	0	28.6	42.9	0	14.3	14.3	0	0
夏季	コロストミー	2.0	2.9	12.2	34.1	22.9	13.2	5.9	4.4	2.0	0.5
	イレオストミー	0	3.6	28.6	32.1	21.4	10.7	0	0	3.6	0
	ウロストミー	1.8	0	10.5	28.1	31.6	14.0	8.8	5.3	0	0
	Wストーマ	14.3	0	28.6	28.6	14.3	14.3	0	0	0	0

6 . 洗腸関連事項

(1) 洗腸法実施者数の推移

洗腸を行っている人を手術後経過年数で見ると、前回10～20年の方達が最多であったが、経年により20年以上に移行した結果、4回の調査と同様に経過年数順に多くなり、5年未満の方達が益々減少している。(表31)

なお、回答者のうち7割弱の方達が洗腸を実施していない。

表31 術後経過年数別の洗腸実施者 【単位：％】

術後経過年数	今 回	第5回	第4回
3 年 未 満	11.1	23.3	19.5
3 ～ 5 年	16.7	21.1	22.9
5 ～ 10 年	21.9	24.4	24.7
10 ～ 20 年	34.3	40.3	35.0
20 年 以 上	40.3	26.7	36.5

また、年齢別に見ると第5回調査では、60歳～64歳の方達が最も多かったが、術後経過年数の調査と同様、経年により65歳～69歳に移行し、最多となった。しかし、50歳～59歳の方達が前回より増加しているのは、単に経年により移行したのか、現役の勤務者で通勤や仕事上都合が良いからと思われる。

前項の7割弱(洗腸を実施していない割合)のうち、60歳以上の方達の比率は、実に9割弱を占めている。

離退職後は洗腸法から自然排便に変更する人が多くなっていると思われる。(表32)

表32 年齢別洗腸実施者の割合

【単位：％】

年齢(歳)	今 回	第5回
40 未 満	0	0
40 ～ 49	23.1	33.3
50 ～ 59	36.0	25.0
60 ～ 64	32.7	47.5
65 ～ 69	38.9	26.0
70 ～ 74	28.3	31.0
75 ～ 79	28.4	28.2
80 以 上	32.2	26.6

(2) 洗腸の実施頻度

洗腸を行っている人は、女性より男性がやや多く、ほとんどの人は、「2～3日に1回」の頻度で実施している。最多は、前回同様「2日に1回」となっている。(表33)

表33 洗腸実施頻度

【単位：％】

	全 体	男 性	女 性
洗腸をしていない(自然排便)	68.4	68.0	68.7
1日に1回洗腸を行っている	6.1	6.5	5.5
2日に1回洗腸を行っている	11.7	11.7	12.0
3日以上1回洗腸を行っている	7.2	7.2	6.9
たまに洗腸をしている	6.6	6.5	6.9

(3) 洗腸器具の買い替え頻度

洗腸器具の買い替え頻度は、「1年に1回」と「それ以上」の方達が均衡して最多となっている。自然排便への移行が原因とおもわれる。

「3ヶ月に1回」と「半年に1回」が前回より減少しているのは「それ以上」に集約されたからなのか不明である。(表34)

表34 洗腸器具の買い替え頻度

【単位：%】

	今回	第5回	第4回	第3回
3ヶ月に1回	6.8	9.7	5.9	10.9
半年に1回	21.6	23.9	18.4	21.5
1年に1回	32.7	36.6	32.2	30.6
それ以上	32.7	25.4	38.4	28.1
無回答	6.2	4.5	5.1	8.9

(4) 新法施行後の洗腸器具の給付

新法施行後の洗腸器具は給付の対象になっているかを聞いた所、コロストミーの方は60%が、Wストーマの方は100%の方が対象になっていると答え、イレオストミーの方は逆に67%の方が対象になっていないと回答があった。ただイレオストミーの方は洗腸器具を使用しないので勘違いと思われる。なお、コロストミーの方が60%と少ないのは、市区町村に徹底されていないものと思われる。これについては、厚生労働省や都道府県に周知徹底するよう要望していく。(表35)

表35 新法施行後の洗腸器具は給付の対象

【単位：%】

		はい	いいえ
コロストミー		60.0	40.0
イレオストミー		33.3	66.7
Wストーマ		100.0	0
性別	男性	60.8	39.2
	女性	58.8	41.2

7. 生活上抱えている問題や悩み

生活上抱えている問題点や悩みについては、前回同様「一人でストーマの管理が出来なくなった場合の不安」が最大の不安であり、「高齢化が進み寝たきりや半身不随」がついで大きな不安になっている。

オストメイトにとって、加齢による不安に加え、障害があるハンディは性別に関係なく大きな不安要素となっており、同時に、災害発生時のストーマ装具の補給状況、避難所での排泄物の処理やストーマ装具交換そして体調不良による排泄物の漏れや臭いへの対処などを考えると、計り知れないものがある。

ストーマ種別でも、コロストミー・イレオストミー・ウロストミーは「ストーマ管理が出来なくなった場合」が最多で、Wストーマは「老化で寝たきりや半身不随になる」と「ストーマ管理が出来なくなった場合」が同一で最多となっている。

年齢別では、50歳未満の方が「皮膚のただれ、かゆみなどの障害」、「災害時のストーマ装具の補給」の身近な問題と「ストーマ管理が出来なくなった場合」の老後のことも念頭においての不安要素となっている。(表36)

表36 生活上抱えている問題や悩み

[単位: %]

		病気の再発（転移を含む）	老化で寝たきりや半身不随になる	便（尿）のもれ、臭いもれ	皮膚のただれ、かゆみなどの障害	性機能の低下や不全	ストーマ管理がうまく出来なくなる	家庭内や職場での引け目、人間関係	災害時のストーマ装具の補給	相談できる人が身近にいない	ストーマ管理が出来なくなった場合	経済的不安
全	体	37.9	67.8	48.2	37.2	16.3	7.8	17.0	56.1	11.7	79.3	17.6
性別	男性	35.6	63.6	49.5	36.9	23.5	7.8	15.7	50.0	11.4	76.3	15.9
	女性	42.1	74.6	46.8	38.5	5.2	7.5	19.4	65.1	12.7	84.1	19.8
ストーマ種別	コロストミー	39.5	67.8	50.2	35.6	16.1	6.2	19.1	58.2	12.9	79.8	20.5
	イレオストミー	35.9	56.4	56.4	56.4	12.8	15.4	20.5	56.4	10.3	82.1	27.3
	ウロストミー	33.3	70.2	36.8	38.6	21.1	8.8	7.0	46.5	8.8	76.3	13.2
	Wストーマ	30.0	75.0	60.0	35.0	15.0	15.0	20.0	55.0	5.0	75.0	25.0
年齢（歳）	40 未満	0.0	33.3	33.3	100.0	33.3	33.3	33.3	66.7	0.0	66.7	0.0
	40 ~ 49	46.7	26.7	66.7	66.7	26.7	20.0	40.0	66.7	6.7	66.7	33.3
	50 ~ 59	49.1	49.1	56.1	40.4	28.1	3.5	14.0	73.7	10.5	80.7	28.1
	60 ~ 64	44.3	62.3	59.0	31.1	19.7	13.1	21.3	65.6	8.2	86.9	23.0
	65 ~ 69	40.0	67.8	45.6	35.6	21.1	3.3	20.0	57.8	10.0	82.2	20.0
	70 ~ 74	39.4	71.5	49.6	39.4	20.4	6.6	14.6	54.0	16.8	80.3	19.0
	75 ~ 79	38.8	71.2	42.4	36.7	10.8	10.1	17.3	47.5	7.2	76.3	12.2
	80 以上	27.9	76.2	46.3	34.7	8.2	6.8	14.3	52.4	15.6	76.9	11.6

8 . 国や自治体の福祉制度についての要望

国の福祉制度に対する要望について表37に示す11項目について調査した。50%弱の方が「所得税の障害者控除をもっと引き上げて欲しい」と「ストーマ装具給付制度の所得制限をなくしてほしい」を要望し、男性が前項の56%強、女性が後項の50%弱の方が要望している。また、前回要望の最多の一つである「JR 運賃割引制度の距離制限をなくしてほしい」も男女とも45%強の方が要望している。

ストーマの種別では、コロストミーとWストーマが「所得税関連要望」、イレオストミーとウロストミーが「人口膀胱や回腸人工肛門は三級に格上げ」が60%強要望してお

り、その外、年齢別では「公共の建物やデパートなどへのオストメイト対応トイレの設置」や「JR 運賃割引制度の距離制限をなくしてほしい」も根強い要望がある。

表 3 7 国や自治体の福祉制度についての要望

【単位：%】

		しい	ほしい	ほしい	ほしい	ほしい	ほしい	ほしい	ほしい	ほしい	ほしい	ほしい
		ストーマ装具給付制度の所得制限をなくしてほ	ストーマ装具給付制度の世帯一括税額をやめて	所得税の障害者控除をもっと引き上げてほしい	人工膀胱や回腸人工肛門は三級にしてほしい	入院中の補装具を健康保険の対象にしてほしい	JR 運賃割引制度の距離制限をなくしてほしい	国民年金の障害年金に厚生年金なみの三級を設けてほしい	ヘルパーがパウチ交換をしてほしい	回腸人工肛門の補装具交付金額を人工膀胱と同額にしてほしい	自動車税（軽自動車）、同取引税の軽減を四級障害者にも適用してほしい	公共の建物やデパートなどに、オストメイト対応トイレを設置してほしい
全	体	47.4	22.5	49.1	38.4	30.7	44.8	28.9	32.8	10.3	31.3	41.9
性別	男 性	47.5	21.5	56.1	42.7	30.1	45.2	29.0	29.3	9.3	39.9	44.4
	女 性	48.0	24.2	38.1	32.5	31.7	45.2	28.6	38.1	11.5	17.5	38.9
ストーマ種別	コロストミー	48.7	22.5	49.4	32.8	31.5	44.0	29.6	30.7	9.4	33.0	42.3
	イレオストミ	53.8	33.3	43.6	61.5	33.3	51.3	33.3	41.0	46.2	28.2	59.0
	ウロストミー	41.2	16.7	48.2	61.4	24.6	46.5	21.9	36.0	0.9	27.2	29.8
	W ストーマ	50.0	25.0	50.0	15.0	25.0	40.0	30.0	35.0	10.0	15.0	45.0
年 齢 (歳)	40 未満	0.0	0.0	0.0	0.0	33.3	33.3	0.0	33.3	0.0	0.0	100.0
	40 ~ 49	60.0	26.7	46.7	53.3	46.7	46.7	33.3	20.0	20.0	60.0	40.0
	50 ~ 59	52.6	33.3	52.6	29.8	24.6	54.4	38.6	42.1	10.5	40.4	43.9
	60 ~ 64	52.5	31.1	55.7	37.7	41.0	42.6	32.8	49.2	16.4	36.1	44.3
	65 ~ 69	52.2	18.9	48.9	43.3	30.0	50.0	28.9	32.2	11.1	28.9	38.9
	70 ~ 74	48.9	23.4	52.6	41.6	32.8	52.6	31.4	36.5	9.5	35.0	46.0
	75 ~ 79	43.2	23.0	50.4	41.7	28.8	40.3	24.5	28.8	9.4	29.5	36.0
	80 以上	42.9	15.0	41.5	33.3	26.5	36.7	24.5	23.8	6.8	23.1	43.5

考察

本調査は今回で6回目となり、過去14年間にわたってオストメイトの生活実態を調査してきた。この間、福祉制度や施策の進展、ストーマ装具の改良、知識の啓蒙・普及などオストメイトを支える環境の整備が進歩した点もあり、オストメイトの生活もかなり改善されてきた。しかし、オストメイトのノーマライゼーションには、まだまだ残されている問題も多く、昨年施行された障害者自立支援法でストーマ装具が「補装具」から「日常生活用具」になり、市区町村の事業として実施され、給付額、自己負担額がバラバラの状況である。今後とも調査を続け、経年的な変化を検討しつつ協会の活動の指針として行く必要がある。

1. 身体障害者福祉法関連事項

(1) 障害認定について

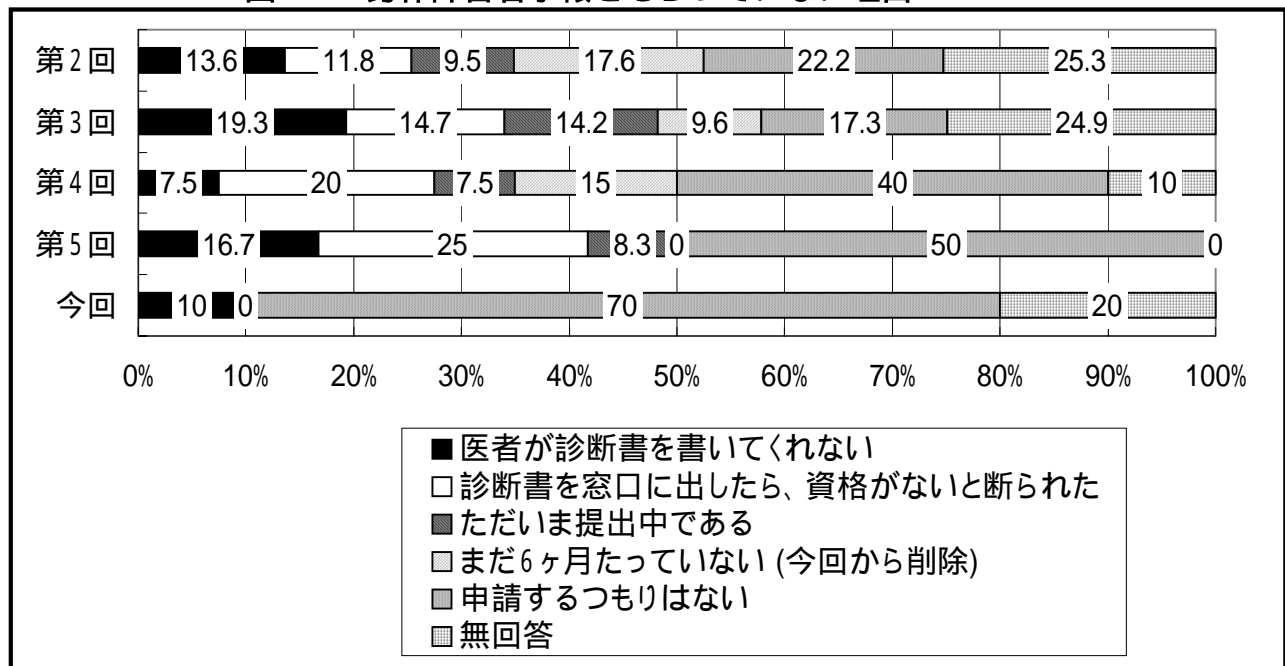
身体障害認定基準が平成15年4月1日に改正され、従来のコロストミーが排尿障害など合併症がないと認定されずにいた、及びオストメイト全員が手術後6ヶ月を経なければ認定を受けられなかった、の二つの制限が撤廃され、ストーマ造設であれば無条件で身体障害認定を受けられる即時全員認定が実現した。また3級以上の身体障害認定基準はこれまでより明確にされ、上位級への認定の道が開かれた。この改正は、長年にわたる当協会の活動の一端が実ったものである。

今回の調査は、身体障害認定基準改正後4年を経過した時点での調査であるので、身体障害認定基準改正の実効を確認する意味においても重要な調査である。

身体障害認定基準改正に伴う手帳の交付状況は、第5回調査(平成16年)において既に97.2%の交付率になっているが、今回の調査ではさらに交付率が上がり98.2%とほとんどの人が手帳の交付を受けていることがわかる。さらに、手術後5年未満の全てのオストメイトの交付率が、100%になっていることから身体障害認定基準改正の効果が明瞭に認められる。

しかしながら、身体障害認定基準改正以降の手帳交付においても、6ヶ月後に申請してもらった人の割合が全体で前回は44.4%、今回は29%、人工肛門保有者で前回51.6%、今回は33.3%と減少しているが、これは、未だに病院等医療機関や新しくオストメイトになろうとする人自身の情報不足に伴う申請の遅れによる部分も大きいと思われる。

図2 身体障害者手帳をもらっていない理由



身体障害認定基準改正以降に手帳を貰っていない人の内、「申請していない人(87.5%)」の理由の50%は「プライバシー確保」、33.3%は「障害者と思っていない」である。また「医師が診断書を書いてくれない」はいまだに12.5%あり医療機関での遅れも明らかになった。前回「診断書を窓口に出したが資格がないと断られた」が25%で今回は0%となった。これは行政面での改善がされたものと思われるが、協会としても今後、啓蒙活動を続けていく必要がある。(図2)

(2) ストーマ装具給付券の発給状況

昨年障害者自立支援法が施行され給付券の受給状況は、貰っている人の割合がこれまでは調査のたびに増加してきた。しかし、前回は1.7%の減少であった。

今回の調査では、前回の第5回調査(平成16年)に比べて4.4%増の83.3%となり、障害者自立支援法の施行により市区町村事業となった関係で市区町村の裁量による影響を受けていると思われる。また、以前は所得税区分による給付であったが、今回からは市区町村民税の区分になったためとも思われる。

ストーマ装具にかかる経費について、前回に引き続き平均的な費用負担を算出してみた。市区町村により給付額は異なるがほぼ旧法と同額と判断し、1ヶ月当たりコロストメイトとイレオストメイトは8,600円、ウロストメイトは11,300円とした。

算出した結果では、1ヶ月当りの費用はコロストメイトが9,331円で前回より7.6%減、イレオストメイトが10,278円で前回より19.1%減、ウロストメイトが11,340円で前回より8.4%減、Wストメイトが16,528円で前回より11%減と全体的に減少している。給付券を使用した場合の不足額の算出では、平均で各々月額コロストメイトは3,241円で前回より12.9%減、イレオストメイトは3,387円で前回より46.7%減、ウロストメイトは3,860円で前回より33.1%増、Wストメイトは3,125円で前回より27.2%減と減少傾向であるが、ウロストメイトは増加している。

2. 障害者自立支援法関連事項

昨年の障害者自立支援法の施行によりストーマ装具の自己負担額がどのように変わったかを聞いた結果、3分の1以上の人が増えたと答えている。特にWストーマの人は60%の人が増加している。この法律でストーマ装具の給付は市区町村事業となり、自己負担額も市区町村により異なるようになった。しかし、明確にはなっていないが、傾向としては1割負担が多くなっているものと思われる。このことはオストメイトに対する福祉の後退である。今後協会としては、2年後の同法の見直しに向けて要望していく。また、同法の施行と同時に協会が要望していたストーマ用品の給付について厚生労働省が通達を出しているにもかかわらず、今回の調査で約半分のオストメイトに給付されていないことが判明した。これについても厚生労働省や都道府県に適正な実施をするよう強く要望していく。

3. オストミー情報と社会の理解度関連事項

ストーマに対する社会の理解度について、その情報の入手方法を主に販売店とオストメイト仲間より行い、その合計した比率は67%に上る。そして、情報収集を積極的に行っているのは術後5年以上の方が多く、5年未満の方は、世間体もあるのか少ない傾向になっている。

また、ストーマに対する一般的な理解度をみると今回の調査では、PR不足のせいか理解されていないと見る方が82%に上り、特にコロストミーとイレオストミーの方達に多く見られる。これは上記の理由とオストメイトが自身のことを、他人に隠していることが挙げられると推察する。性別では、理解されていないと回答した方が男性で80%強、女性は85%強に上り、女性のほうが隠す傾向が多いように思われる。

ストーマについて一般社会に正しく理解してほしい理由として、「誰でもストーマをもつ可能性があるのを知っておくとよい」が30%弱と最も多く、次いで「普通に生活ができることを知してほしい」が27%となっている。このことは、医療者や特に家族の方に正しく理解してほしいという、切実な表れとおもわれる。(無回答を除く)

その広報の手段として、「公共広報誌」が最多で、次いで「テレビ・ラジオ」や「新聞」のマスメディアが挙げられる。このことは、特に男性に顕著である。

4.生活上抱えている問題や悩み

オストメイトが問題として抱えている悩みや不安について毎回検証しているが、依然として、「一人でストーマの管理が出来なくなった場合の不安」が一番に、次いで「高齢化で寝たきりや半身不随になること」が二番になった。三番目に「災害時のストーマ装具の補給」の問題であり、高齢化しているオストメイトにとって切実な問題である。

ただ「災害時のストーマ装具の補給」は、災害時の要援護者の通達で確保された。

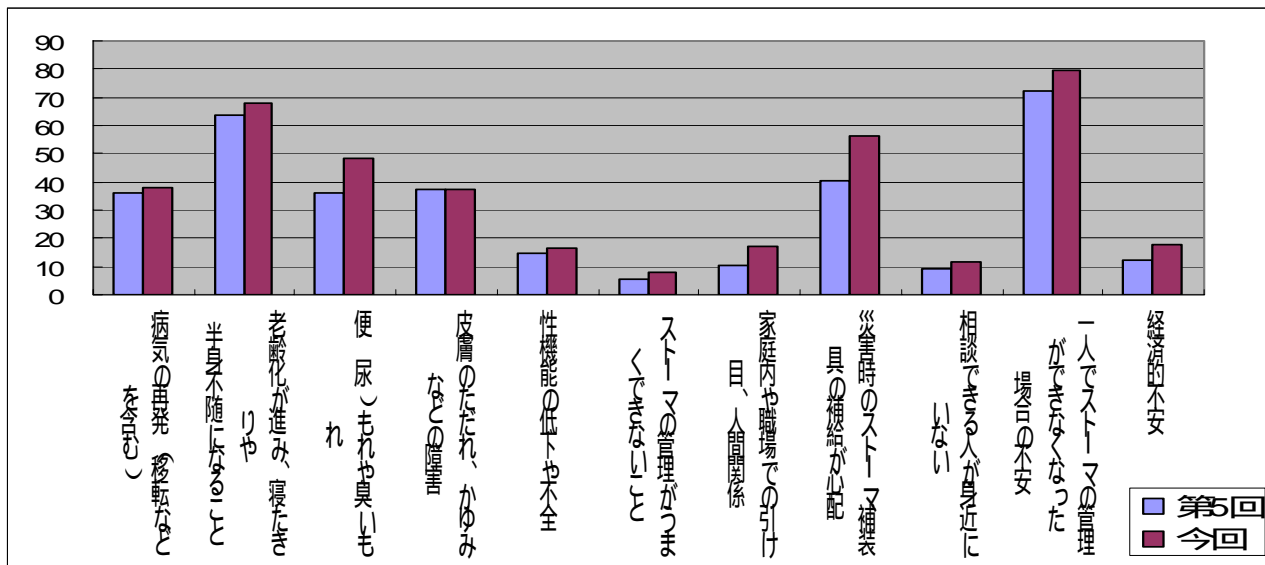
特に、平成13年から始まった介護保険制度での在宅介護におけるストーマ管理の問題である。介護保険では「パウチの交換」は、医療行為としていて、ホームヘルパーは交換できないことになっていたが、便、尿の排出、二品型の袋の交換は可能になった。しかし、一品型や二品型の面版(フランジ)の交換は依然として訪問看護の看護師が行うことになっているため、協会としても継続的に厚生労働省に働きかけるのと同時に、ストーマ知識が欠如している看護師にストーマ装具の交換について、看護協会等に研修を更に充実してほしい旨要望したい。

看護師は要介護度にもよるが、一週間に1~2回の訪問となるが、オストメイトの排泄は随時行われているのに「パウチの交換」が週に1,2回の定められた時間のみしか出来ないとは非現実的な対応で、人間としての尊厳を保持する点からも対応が急がれる。

ストーマ種別では、上記三番目までの悩みを除くと、コロストミー、イレオストミー、ウロストミー、Wストーマとも「便(尿)の漏れ、臭いのもれ」と「皮膚のただれ、かゆみ等の障害」が多く、身近な問題として無視できない。

年齢別では、60歳定年前の方は特に身近な悩み「災害時のストーマ装具の補給」、「皮膚のただれ、かゆみの障害」、「便(尿)のもれ」「性機能の低下や不全」に比重が多いのに対し、60歳以上の方は老後の悩み「一人でストーマ管理が出来なくなった場合」や「老化で寝たきりや半身不随になった場合」が健常者と同様の悩みが多くなっているため、オストメイトを抱える協会にとって、日常活動として実施している講習会や研修会を開催するときに留意しなければならない。(図3)

図3 生活上抱えている問題や悩み [単位：%]



5. 国や自治体の福祉制度についての要望

今回の調査でもこれまでの調査同様に特に要望の多いものは、「所得税の障害者控除引き上げ」や「ストーマ装具給付制度」の改正や「JR運賃割引制度」の距離撤廃である。次いで「オストメイト対応トイレ」、「人工膀胱や回腸人工肛門は3級に」が要望の上位を占めている。何れも順位は前後しているが、同一項目に主眼がある。(表38)

表38 国や自治体の福祉制度についての要望の上位5項目

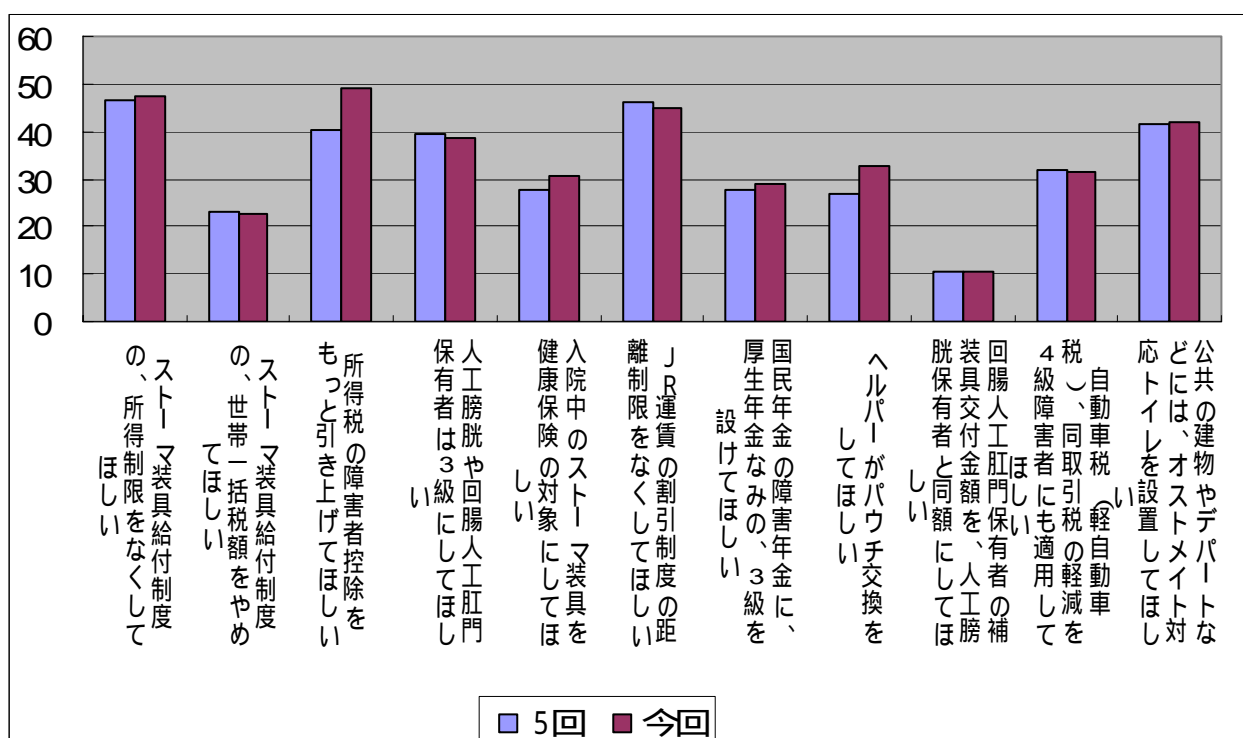
順番	今回	第5回	第4回
1	所得税の障害者控除額の引き上げ	ストーマ装具給付制度の所得制限の撤廃	JR運賃割引の距離制限撤廃
2	ストーマ装具給付制度の所得制限の撤廃	JR運賃割引の距離制限撤廃	ストーマ装具給付制度の所得制限の撤廃
3	JR運賃割引の距離制限撤廃	オストメイト対応トイレの設置	オストメイト対応トイレの設置
4	オストメイト対応トイレの設置	所得税の障害者控除額の引き上げ	所得税の障害者控除額の引き上げ
5	人工膀胱や回腸人工肛門は3級に	人工膀胱や回腸人工肛門は3級に	人工膀胱や回腸人工肛門は3級に

国や自治体に対する要望項目には所得税の障害者優遇制度を更に進める、運賃割引制度の距離制限撤廃、オストメイト対応トイレの更なる増設(特に、被災時における避難所でのライフラインを含めた設備の増設)を要望し、更にウロストミーやイレオストミーの方達は身体障害者の等級を上げて欲しい等の要望項目が多く含まれる。

国や地方自治体はノーマライゼーション社会の実現に向け努力されているが、まだまだ我々のPR不足もあって深部を熟知しないことがあるので、極力国、特に地方自治体と接触を保つよう心がけねばならない。(図4)

図4 国や自治体の福祉制度についての要望

【単位：％】



・終わりに

本調査は、第6回を向かえ過去14年にわたるオストメイトの生活実態について調査したものであり、わが国は勿論、世界的にも貴重な資料である。この間ストーマ装具の品質が飛躍的に向上し、また自治体の支援を得て当協会が実施しているオストメイト社会適応訓練事業の体験交流や健康福祉相談、医療講演など啓蒙活動により、オストメイト自身の自助・互助活動が結実してその生活の質も向上し、社会参加の促進を図っている。

昨年施行された「障害者自立支援法」でストーマ装具が「補装具」から「日常生活用具」に変わり1年が経過しようとしている。当協会は、今回の調査で自己負担が増加したオストメイトが3分の1に達しているので、市区町村におけるストーマ装具の給付状況がどのようになっているか調査し、厚生労働省に改善を要望していく。

平成15年に身体障害認定基準が改正され、人工肛門保有者の手術後の即時全員認定や障害の程度に応じて上位級への認定が可能になり、今回の調査では、5年未満の人が全員認定されている。また、オストメイト対応トイレの設置は、これまでの活動が実り全国的に普及し、昨年、新たに成立した「バリアフリー新法」では、特定の建物への設置が義務付けられた。これまでの当協会の活動によりオストメイトの福祉は向上したが、まだ問題点も多く残っている。

当協会では、本調査報告書を厚生労働省関係部局、自治体福祉関係部局、障害者福祉に関心をもたれている各方面に配布し、オストメイトの生活実態を広く理解して頂き、更なるオストメイトの福祉が充実されるようご協力とご支援をお願いしたいと考えている。

この調査事業は、ブリストル マイヤーズ・スクイブ（株）コンバテック事業部様のご支援により実施することが出来たものであり、ここに深甚の謝意を表すものである。

第六回 オストメイト生活実態基本調査票(平成 19 年) 社団法人 日本オストミー協会

《この調査はオストメイトの実情やその変化などを調べて協会の活動の基礎資料とするものです。ご面倒でも是非ご協力をお願いいたします。調査結果は会報でお知らせいたします。》

まず、あなたご自身についてお伺いします。次の項目にご記入下さい。〔あなた様のプライバシーは守ります〕

1. ストーマを造設した年: 昭和・平成 年 2. 今の満年齢: 歳 3. 性別: 男・女
4. 住んでいる都道府県名と支部名: 県 支部(会)
5. ストーマの種類(を付けて下さい): 1) 直腸・結腸人工肛門(コロストミー) 2) 回腸人工肛門(イレオストミー)
3) 人工膀胱(ウロストミー) 4) 人工肛門と人工膀胱

問1 あなたは身体障害者手帳をもらっていますか。(どちらかを で囲み、当てはまる級に を付けて下さい)

- 1) もらっている・・・(1)1級 (2)2級 (3)3級 (4)4級
2) もらっていない

問1-2 問1で「もらっている」に を付け、障害認定基準の改定された、平成15年4月1日以降にもらった方、級が上がった方だけに伺います。(どれか1つの番号を で囲んで下さい)

- 1) 申請して直ぐもらった 2) 6ヵ月後に申請してもらった 3) 再申請してもらった 4) 級が上がった

問1-3 問1で「もらっていない」に を付けた方だけに伺いします。理由は何ですか。

(どれか1つの番号を で囲んで下さい)

- 1) 医師が診断書を書いてくれない
2) 診断書を窓口に出したが、資格がないと断られた
3) ただいま提出中である
4) 申請するつもりはない(どれか1つの番号を で囲んで下さい)

- (1) プライバシーが漏れるから (2) 自分は障害者とは思っていない (3) その他

問2 身体障害者手帳をもらっている方だけに伺いします。あなたはストーマ装具の給付券(旧交付券)を市町村からもらっていますか。(どちらかに を付けて下さい。)

- 1) もらっている 2) もらっていない

問3 ストーマ装具の給付額(旧交付額)は、市区町村によっては一部または、全額を補助している所があります。あなたの場合はどのようなになっていますか。(どれか1つの番号を で囲んで下さい。)

- 1) 所得額が低いので、全額もらっている
2) 所得制限のため、全くもらえない
3) 所得制限にかかり、一部しかもらえない(一部自己負担している)
4) 所得制限にかかるが、市町村の補助で全額もらっている
5) 所得制限にかかるが、市町村の補助で一部もらっている(一部自己負担している)
6) よくわからない

問3-2 前問で3)、5)に をつけた方だけに伺いします。

貴方の給付券に対する1ヶ月当たりの自己負担額を記入してください。自己負担1ヶ月当たり _____ 円

問4 1ヶ月にストーマ装具のため、どのくらい経費がかかりますか。ストーマ装具給付額を含め、合計でおよその金額はいくらですか。(どれか1つの番号を で囲んで下さい。)

- 1) 全くかからない 2) 4,999円以下 3) 5,000円~9,999円 4) 10,000円~14,999円
5) 15,000円~19,999円 6) 20,000円~24,999円 7) 25,000円以上

問4-2 経費がかかる方だけに伺いします。上の金額は給付券だけで間に合っている金額ですか。

間に合っていない場合の不足金額は1ヶ月どのくらいですか。(どれか1つの番号を で囲んで下さい。)

- 1) 給付券で間に合っている 2) 1,999円以下 3) 2,000円~2,999円 4) 3,000円~3,999円
5) 4,000円~5,999円 6) 6,000円~7,999円 7) 8,000円~9,999円 8) 10,000円~14,999円
9) 15,000円以上

問4-3 障害者自立支援法の施行に伴い、ストーマ装具の給付体系が変わり市区町村毎の対応となりました。あなたは、新法施行後において(2006年10月以降、一部2007年4月開始)どのような認識をお持ちですか?(どれか1つの番号を で囲んで下さい。)

- 1) 自己負担額が増えた 2) 今までと変わらない 3) 自己負担額が減った 4) 分からない

問4-4 最後にストーマ装具を購入された際の購入金額及び自己負担額を教えてください。(対象月数をどれか1つの番号で囲んで下さい。)

購入した月 月 対象は 1)2ヶ月分 2)3ヶ月分 3)4ヶ月分 4)5ヶ月分 5)6ヶ月分
 購入金額 円 その内、自己負担額 円

問5 昨年の10月から法改正によりストーマ用品(皮膚保護ペースト・パウダー・ウエハー、固定ベルト、サージカルテープ、カバー、消臭剤、専用ハサミ、剥離剤、皮膚皮膜剤、コンベックスインサート、レッグバッグ、ナイトドレーナーバッグ等の13品目)が給付されることになりました。貴方は給付を受けていますか。

- 1) いる 2) いない

問6 現在お使いのストーマ装具の「メーカー名」と「製品名」を、それぞれ1つだけ選んで、番号を で囲んで下さい。

メーカー名	製品名	
	二品型(ツーピース)	単品型(ワンピース)
1. アルケア	1. プロケア2 2. バイオマックス 3. ユーケア-2 4. その他	1. ラパック 2. プロケア1 3. ポスパック 4. ユーケア- 5. バイオユーリン 6. その他
2. エイパック	1. オスガード 2. その他	1. エイパック 2. 防臭パック 3. その他
3. コロプラスト	1. アシュラ 5. その他 2. セーフティー 3. コンシール 4. イージーフレックス	1. アシュラ スタンダード 2. p c 3000 3. アシュラ ウロバッグ 4. m c 3000 5. アシュラ コンフォート 6. その他
4. コンバテック (ブリストル・マイヤーズ スクイブ)	1. バリケア ナチュラ 6. その他 2. デュラヘーシブ ナチュラ 3. バリケア オートロック 4. バリケア オートロック デュラヘーシブ 5. エスティーム シナジー	1. アクティブライフ 2. エスティーム
5. ダンサック	1. ダンサック デュオ 2. ダンサック ノバ1 3. その他	1. タンサック ソロ 2. ダンサック イパント 3. ダンサック ノバ2 4. その他
5. 村中医療器 (ビー・ブラウン)	1. トレビアン2 2. アルマリス ツイン 3. その他	1. コロプレフランス 2. ウロプレフラン ス 3. アルマリス 4. その他
6. ホリスター	1. びたりん 4. その他 2. ツーピース 3. ニューイメージ	1. しなやか 2. ストマドレイン 3. カラヤ5ドレイン 4. モデルマ 5. その他
7. その他(名前:)	1. (名称:)	1. (名称:)

問7 現在お使いのパウチ(袋)は次のどれに当てはまりますか。(どれか1つの番号を で囲んで下さい)

- 1) 人工肛門用:下部開放型パウチ〔ドレイン型パウチ〕 2) 人工肛門用:密閉型パウチ〔クローズ型パウチ〕
 3) 人工膀胱用:パウチ

問8 現在お使いのストーマ装具に満足していますか。(どれか1つの番号を で囲んで下さい)

- 1) 満足している 2) だいたい満足している 3) やや不満がある 4) 満足していない

問9 貴方は新商品などの色々なストーマ装具を試してみたいと思われませんか?次の中からお選びください。(どれか1つの番号を で囲んでください)

- 1) 試してみたいと思う 2) まあ試してみたいと思う 3) どちらでもない
 4) あまり試してみたいと思わない 5) 試してみたいと思わない

問10 現在お使いのストーマ装具について、不満な点はどのようなことでしょうか。自由にお書き下さい。

問11 なぜそのストーマ装具〔製品〕を選びましたか。(いくつでも番号を で囲んで下さい)

- 1) 値段が安いから 2) 入院中から使用しているから 3) 皮膚に安心だから 4) 粘着力が強いから
5) 使用中の汚れが無いから 6) 扱いやすいから 7) メーカーや販売業者のサービスが良いから
8) 外来で医師や看護師から勧められたから 9) 患者会・同慶会の仲間から勧められたから
10) 知り合いのオストメイトから勧められたから 11) 販売店(ショップ)から勧められたから
12) メーカーの営業マンから勧められたから 13) 製品サンプルを使用してよかったから
14) 会報の広告、情報誌を見て 15) インターネットのホームページを見て
16) わからない 17) その他(具体的に:)

問12 現在お使いのパウチ(袋)はどのくらいの日数で交換しますか。(どれか1つの番号を で囲んで下さい)

- 1) 1日に2回以上 2) 1日に1回 3) 2日に1回 4) 3日に1回 5) 4日に1回
6) 5日に1回 7) 6日に1回 8) 1週間に1回 9) それ以上 10) パウチは使わない

問13 ツーピース(二品型)をお使いの方だけにお伺いします。ツーピースのフランジ(お腹に貼る面板)はどの位の日数で交換しますか。(どれか1つの番号を で囲んで下さい)

- 1) 夏の汗をかく季節
(1) 1日に2回以上 (2) 1日に1回 (3) 2日に1回 (4) 3日に1回 (5) 4日に1回
(6) 5日に1回 (7) 6日に1回 (8) 1週間に1回 (9) それ以上 (10) フランジは使わない
2) その他の季節
(1) 1日に2回以上 (2) 1日に1回 (3) 2日に1回 (4) 3日に1回 (5) 4日に1回
(6) 5日に1回 (7) 6日に1回 (8) 1週間に1回 (9) それ以上 (10) フランジは使わない

問13-2 ツーピース(二品型)をお使いの方だけにお伺いします。現在ご使用の装具とフランジのパウチの接合方法には満足されていますか?(どれか1つの番号を で囲んで下さい)

- 1) 満足している 2) だいたい満足している 3) やや不満がある 4) 満足していない
理由()

問14 貴方がストーマ装具を評価する上で重視されるポイントを3つだけ選んでください。(番号を3つ で囲んでください)

- 1) 粘着部による皮膚障害が発生しない 2) 粘着部の貼付できる期間が長い 3) 装着のしやすさ
4) パウチの形 5) パウチの色 6) フィルターの有無 7) フィルターの性能 8) パウチの肌触り
9) 排出口の使い易さ 10) その他(具体的に)

問15 人工肛門の方だけに伺います。洗腸を行っていますか。(どれか1つの番号を で囲んで下さい)

- 1) 洗腸していない(自然排便) 2) 1日に1回行っている 3) 2日に1回行っている
4) 3日以上に1回行っている 5) たまに洗腸を行っている

問16 洗腸をしている方だけに伺います。洗腸器具はどのメーカーのものをお使いですか。

(どれか1つの番号を で囲んで下さい)

- 1) アルケア(コロクリン) 2) コロプラスト(イリゲーションセット)
3) スクイブ・コンパテック(バリケア新洗腸セット)
4) ホリスター(洗腸セット) 5) その他(名前:)

問16-2 洗腸器具の買い替えの頻度はどのくらいですか。(どれか1つの番号を で囲んで下さい)

- 1) 3ヶ月に1回 2) 半年に1回 3) 1年に1回 4) それ以上

問16-3 新法施行後において、洗腸用具の購入費も給付の対象となっていますか?

- 1) はい 2) いいえ

ここからは全員にお伺いします。

問17 ストーマ装具などのオストメイトに関わる情報はどこから入手されていますか? 当てはまる番号を、いくつでもで囲んで下さい。

- 1) 販売店からの案内 2) 各メーカーのホームページ 3) 医療従事者(ストーマ外来含む) 4) オストメイト仲間

問18 一般的にストーマが正しく理解されていると思いますか。

- 1) 理解されている 2) あまり理解されていない 3) 全く理解されていない

問19 今までにストーマが正しく理解されていないために困ったことはありましたか。

- 1) ある 2) なし

問20 ストーマについて一般社会に正しく理解してほしいですか。

- 1) はい(下の理由の項目からあてはまるものの記号を全て記入して下さい) 記号 _____
2) いいえ

問21 ストーマについて医療者に正しく理解してほしいですか。

- 1) はい(下の理由の項目からあてはまるものの記号を全て記入して下さい) 記号 _____
2) いいえ

問22 ストーマについて家族に正しく理解してほしいですか。

- 1) はい(下の理由の項目からあてはまるものの記号を全て記入して下さい) 記号 _____
2) いいえ

理由の項目

- | | |
|---------------------|------------------------------|
| ア、公共施設の利用を拒否された | カ、誰でもストーマをもつ可能性があるので知っておくとよい |
| イ、普通に生活できることを知ってほしい | キ、家族と協力して生活するため |
| ウ、外に出ることが少なくなった | ク、自分たちのニーズに親身になってほしい |
| エ、対人関係に困った | ケ、その他() |
| オ、他の病気で受診や入院したとき困った | |

問23 ストーマについて正しく理解してもらうためにはどのような広報が望ましいと思いますか。(複数回答可)

- 1) テレビ・ラジオ 2) 新聞 3) 公共広告機構などのポスター 4) 市民講座など 5) インターネット
6) 公共広報誌(市民広報紙など)

問24 E Tナース・WOCナース(ストーマケアを専門とする看護師)のケアを受けたことがありますか。

- 1) はい 2) いいえ

問25 生活上の抱えている問題や悩み事を教えてください。当てはまる番号を、いくつでもで囲んで下さい。

- | | |
|---------------------|-----------------------------|
| 1) 病気の再発(転移などを含む) | 2) 高齢化が進み、寝たきりや半身不随になること |
| 3) 便(尿)もれや臭いもれ | 4) 皮膚のただれ、かゆみなどの障害 |
| 5) 性機能の低下や不全 | 6) ストーマ管理がうまく出来ないこと |
| 7) 家庭内や職場での引け目、人間関係 | 8) 災害時のストーマ装具の補給が心配 |
| 9) 相談できる人が身近にいない | 10) 一人でストーマの管理が出来なくなった場合の不安 |
| 11) 経済的不安 | 12) その他(具体的に:) |

問26 国や自治体の福祉制度についての要望をお伺いします。当てはまる番号を、いくつでもで囲んで下さい。

- | | |
|---|------------------------------|
| 1) ストーマ装具給付制度の、所得制限をなくしてほしい | 2) ストーマ装具給付制度の、世帯一括税額をやめてほしい |
| 3) 所得税の障害者控除を、もっと引き上げてほしい | 4) 人工膀胱や回腸人工肛門保有者は、3級にしてほしい |
| 5) 入院中の補装具を、健康保険の対象にしてほしい | 6) JR 運賃の割引制度の、距離制限をなくしてほしい |
| 7) 国民年金の障害年金に、厚生年金なみの、3級を設けてほしい | 8) ヘルパーがパウチ交換をしてほしい |
| 9) 回腸人工肛門保有者のストーマ装具給付金額を、人工膀胱保有者と同額にほしい | |
| 10) 自動車税(軽自動車税) 同取引税の軽減を4級障害者にも適用してほしい | |
| 11) 公共の建物やデパートなどには、オストメイト対応トイレを設置してほしい | |
| 12) その他(具体的に:) | |

問27 ストーマ装具メーカーに対して何かご要望等がございましたら、ご自由にお書きください

第6回オストメイト生活実態調査

支部別標本数及び回収数

平成19年8月

	支部名	割当標本数	回収数		支部名	割当標本数	回収数
1	北海道	7	5	36	滋賀県	12	5
2	札幌市	27	12	37	京都府	22	12
3	函館市	7	3	38	大阪府	28	17
4	帯広市	1	1	39	関西	9	6
5	青森県	23	11	40	兵庫県	55	28
6	岩手県	26	11	41	奈良県	12	6
7	宮城県	9	5	42	和歌山県	10	5
8	仙台市	11	6	43	鳥取県	10	5
9	秋田県	13	9	44	島根県	10	10
10	山形県	9	8	45	岡山県	20	14
11	福島県	17	9	46	広島県東部	9	4
12	茨城県	24	8	47	広島県	17	12
13	栃木県	15	9	48	広島県呉	7	6
14	群馬県	17	13	49	山口県	18	7
15	埼玉県	16	15	50	徳島県	5	2
16	さいたま市	5	2	51	香川県西	7	4
17	千葉県	51	31	52	香川県東	7	4
18	千葉市	11	2	53	愛媛県	15	6
19	東京都	68	39	54	高知県	8	3
20	三多摩	37	16	55	福岡県	18	15
21	がん研	5	1	56	福岡市	10	3
22	神奈川県	32	18	57	北九州市	4	2
23	横浜市	50	30	58	佐賀県	10	4
24	川崎市	13	11	59	長崎県	14	10
25	山梨県	5	3	60	熊本県	11	6
26	新潟県	30	20	61	大分県	12	6
27	富山県	10	6	62	宮崎県	18	10
28	石川県	16	9	63	鹿児島県	5	5
29	福井県	8	5	64	沖縄県	6	2
30	長野県	3	3				
31	岐阜県	4	1				
32	静岡県	19	10				
33	愛知県	36	17				
34	三重県	4	2	未記入			85
35	三重県友愛	7	3	合計	1025	658	

第6回オストメイト生活実態基本調査 調査報告書

2007年(平成19年)8月31日 発行

編集 社団法人 日本オストミー協会

発行 社団法人 日本オストミー協会

124-0023 東京都葛飾区東新小岩 1-1-1

トラスト新小岩 901

電話 03-5670-7681 FAX03-5670-7682

E-Mail ostomy@joa-net.org

URL <http://www.joa-net.org>

印刷 株式会社 マルチプレス

108-0073 東京都港区三田 5-5-3

電話 03-3455-5381

無断転載・複写・複製を禁ず